



JOBOJI Japan

浄法寺漆

じょうほうじしき

■ 国産漆の状況について

岩手県北地域及び青森県南地域は古くは同じ南部藩の領地として、南部漆と言われた漆の生産の中心地でもありました。現在でも、歴史や文化において関わりが深く、様々な場面で地域や人のつながりによる交流を行っています。

国産漆は、日光東照宮や平泉中尊寺など重要文化財の修復に使用されてきましたが、今後は、櫛引八幡宮や岩木山神社などの修理にも使用される予定です。

大切な文化財を守り伝えるためには多くの国産漆が必要で、将来にわたり漆を確保していくには漆掻き職人の育成とウルシの木の確保が必要になっていきます。

■ 二戸市の取組みについて

二戸市では、必要な漆を確保するため、漆掻き職人の育成や企業との連携などによる植栽地の拡大、不足している苗木の確保、管理されていない漆の木の整備などウルシの木を確保するための取組みを進めています。

今後は、市内だけで将来必要なウルシの木を確保することは難しい状況で、二戸地域や三八地域などに住む皆様のご協力をいただきながら、必要なウルシの木の確保と円滑な取引につなげていきたいと考えています。

日本の文化財を守るため
皆さんの協力が重要です！

★ ウルシの木に関する情報をお知らせください！

- ・ 漆の木の管理のためシステムを整備し情報を収集します。
- ・ 漆の林を登録することで、保育管理や整備等の案内、円滑な原木取引に繋がります。
- ・ 漆掻き職人は1本あたり2,000円程度で買い付けしています。
- ・ ウルシの木の販売については「浄法寺漆生産組合」にご相談ください。

◇ 地域おこし協力隊 (うるしびと) 募集中!
(3/23メ切)

◇ 漆の国・浄法寺ホームページ
<http://urushi-joboji.com/>



お問い合わせ

- ◎ 二戸市漆産業課
電話 0195-38-4472 FAX 0195-38-2218
E-mail: urushi@city.ninohe.iwate.jp
- ◎ 岩手県浄法寺漆生産組合 電話 0195-43-3172